



地域に密着した持続的な成長をする 総合生活産業を目指します

平素より三重交通グループの事業に対し、格別のご理解を賜り誠にありがとうございます。

当社は、三重交通グループを統括する純粋持株会社として、グループの基本戦略を計画・遂行するとともに、各社の経営及び事業活動を推進・支援しております。三重交通ブランドと信用力を基に、運輸、不動産、流通、レジャー・サービスの異なる4つの部門が連携し、相互に補完しながらリスクに強い体制を構築して、地域に密着した総合生活産業を営む企業グループとして持続的な成長を続けていくことを目指しています。また、お客様や地域社会のお役に立ち、信頼をいただくことで企業グループが存続できると考えており、今後も引き続き「安全・安心・安定・快適なサービス」を提供してまいります。

当社グループの根幹は運輸業であり、長年にわたり地元でバス事業を営み、地域住民の足として公共的役割を果たしてきた知名度と信用力が最大の財産です。これが、不動産、流通、レジャー・サービス各事業の信頼の源泉となることで、事業規模を拡大してまいりました。この信頼の源泉を維持するものが「安全」であり、当社グループは常日頃から安全に対して絶えず高い意識を持って取り組み、組織全体で緊張感を高め、模範となる体制の堅持に努めています。

近年、ESGが企業価値の評価指標としてますます重視され、SDGsは評価のための共通言語になりつつあります。ESGとは、環境 (Environment)、社会 (Social)、ガバナンス (Governance) の頭文字を取ったものであり、企業の価値を測る尺度について、

業績や財務の情報などに加え、環境・社会・ガバナンスといった非財務情報を企業評価に取り入れようとする動きが急速に拡大しています。

一方、SDGs(Sustainable Development Goals)は、国連が2015年にまとめた持続可能な開発目標のことであり、飢餓の根絶や地球温暖化対策など、2030年までに世界が達成すべき17項目の大きな目標を取り上げています。

地球環境問題や経済・社会問題は深刻度を増し、政府や国際機関だけでは対処できなくなりつつあります。企業も環境、経済・社会への影響力が大きく、業務体制の変革や技術革新を通じて様々な課題に取り組むことが求められています。

当社グループの取組みとして、環境面では、「再生可能エネルギー」の普及促進に貢献すべく、これまでに発電規模約75メガワットにわたるメガソーラーを稼働させ、2017年度には三重交通バス3営業所にて車庫の上屋に太陽光パネルを設置し、発電を開始しました。その他、ハイブリッドバスの導入、LEDライトへの切り替え、ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)の普及拡大など、環境に配慮した企業活動を行っています。

社会面では、高齢者人口の増加に対応するため、各社バリアフリー化に積極的に取り組んでいます。バス事業では、運転免許返納割引制度など高齢者が利用しやすいサービスを設け、バスの利用促進につなげています。また、近年のクルーズ船の寄港や、東京2020オリンピック・パラリンピック開催に向けてインバウンドの増加が更に見込まれる中、当社グループは様々な対応を進めています。外国語表記の充実のほか、Wi-Fiや支払方法などインフラの整備をはじめ、積極的な誘致活動を行う事で、地域の活性化につながるよう取り組んでいます。

今後も持続可能な経営を志向し、企業の社会的責任として、環境、社会、経済の諸問題に取り組んでいく所存です。

～中期経営計画～

さて、当社グループは、2016年2月策定の中期経営計画に基づき、積極的に事業を展開してまいりました。特に、先程も述べました成長分野である環境エネルギー事業及び「三交イン」のブランド名で展開しておりますビジネスホテル事業では投資計画を着実に実行し、利益水準が向上しました。

2018年3月期の連結業績につきましては、営業利益は2006年のホールディングス体制移行後の最高益を達成し、経常利益は初の60億円台で2期連続、純利益については6期連続で最高益を更新することができました。

2018年上半期においても、中期経営計画に則り投資を進め、収益力強化を図りました。7月には三重県菰野町の御在所ロープウェイがリニューアルオープンを迎え、おかげさまで多くのお客様にご来場いただいています。9月にはフランチャイズ経営する東急ハンズの名古屋市内3店舗目となる「名古屋ゾウンダーシティ店」がオープンし、更に関西初進出となる「三交イン大阪淀屋橋」が開業しました。

また、2018年7月26日から8月20日まで三重県を中心とした東海地区において開催された全国高等学校総合体育大会では、競技参加者を含め約39万人の来場があり、当社がネーミングライツを取得し、支援を行っている「三重交通^{グループ}Gスポーツの杜 鈴鹿・伊勢」の両施設においても競技が行われたほか、当社グループでは、選手・関係者輸送をはじめ、宿泊施設の提供、ドライブインでの食事提供などで協力させていただきました。

当期は3カ年の中期経営計画の最終年度であり、3カ年の集大成として次期計画に向け、さらに強固な経営基盤を確立し、さらなる飛躍へとつなげていく所存です。

皆様におかれましては、今後も変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。